横浜市青少年指導員研修会

令和５年９月16日（土）西区公会堂に於いて市青指研修会が開催されました。オープニングイベントでは県立横浜平沼高等学校ダンス部の若さ溢れるダンスに会場が沸き上がりました。

次に西区青指が取り組んでいる様々な活動の紹介がありました。掃部山公園で開催される虫の音を聞く会、プラネタリウムや紙飛行機大会、ふれあい春祭りでの百人一首大会など活発な活動の様子が見られました。

記念講演は桂歌助師匠による「笑顔を引き出す話し方」。プロの噺家とはこれ程話術が巧みなのかと驚き、見事なつかみで最初から笑いに包まれ会場全体が講演に引き込まれていきました。

講演では、人を笑わせる人は好かれる、笑いは場を和ますといった効用が笑いにはあり、その笑いを引き出すための声の出し方や声の表現の仕方などを話されました。桂歌丸師匠とのエピソードを盛り込みながら〝なぞかけ〟の落ちの付け方や小噺の作り方など、終始笑いの絶えない講演でした。（門井）

南区青少年協議会全員研修会

令和６年の幕が開け小正月を迎えようとしている中、令和６年１月14日（日）午前10時より、南区役所において「南区青少年協議会全員研修会」を開催しました。ここ数年、コロナ感染症対策として、中止や参加人数を絞るなどの方法により制限を設けての開催でしたが、昨年の新型コロナの５類移行により、青指全員参加が可能となり、83人の参加がありました。

研修は、「子ども食堂を含む子どもの居場所の現状について」をテーマとし、南区社会福祉協議会事務局次長、子ども食堂運営団体の“NPO 法人こっこ”代表、“いらっしゃい運営委員会”代表を講師としてお招きしました。

南区社協次長からは、子どもの居場所としての子ども食堂の役割、ネットワーク、現況についての説明がありました。また、各子ども食堂運営団体からは、団体の活動状況や今後についてのお話をうかがいました。

各団体の説明後、青少年指導員からの質問事項を基にパネルディスカッションが行われ、運営方の苦労、支援活動における配慮等を知ることが出来ました。また、子どもたちの笑顔を見たい、力になりたいという思いが伝わってきました。

研修を通して、子ども食堂についての様々な気づきが得られましたが、私たちにもまだわからないことがたくさんあり、今後は、共同できるところは協力し、子どもたちの居場所づくりと地域のつながりを作っていきたいと思います。（内田）

編集後記

体調の許す限り私は、毎朝、１時間半ほどウォーキングをするようにしています。朝の日差しを感じ一日のスタートを迎えると日中の活動も気持ちよく行える気がします。

年間、四季折々の何パターンかのルートを決めて歩いていると横浜の歴史文化財の看板に気づくことがあり身近に暮らしているのに知らないことがたくさんあることに気づきました。

長く横浜市南区に住みますがちょっとしたことをきっかけで知ることが出来てより地元の関心度が増します。

新年度に向けて１年間の出来事を見返しどんなことをやりたいのか?どんな目標を立てようか?短いスパンでも立ち返り前を進むように心がけて行きたいと思います。（岡田）

■ 令和６年度上半期、青指行事予定 ■

５月19日	南区青少年指導員協議会新任者研修会
６月頃	小中学校教諭との打合せ会
７月	全市一斉統一行動パトロール活動
７月20日~21日	ふれあいキャンプ2024

編集委員

■ 広報部会長
北永田地区……加藤春哉
■ 広報部会員
お三の宮地区……岡田圭司
太田地区……稲垣恵子
太田東部地区……今井馨太郎
寿東部地区……小林航大
中村地区……平野直子
蒔田地区……斉藤純
井土ヶ谷地区……門井由美子
南永田山王台地区……山田智久
永田みなみ台地区……伊東由和
六ツ川地区……森田裕之
六ツ川大池地区……青木慶一
本大岡地区……内田正幸
別所地区……松尾英司
■ 広報部会担当役員
六ツ川大池地区会長……伊東俊一

編集発行／南区青少年指導員協議会
事務局／横浜市南区地域振興課内
TEL 045(341)1238

2024年３月 Vol.67

横浜市青少年指導員
シンボルマーク

YOKOHAMA YOUTH MENTOR

みなみ青指だより

南区青少年指導員協議会　南区青指 検索

南区制80周年記念
第43回ボイス・オブ・ユース（青少年の主張）

～ 表彰式＆朗読開催 ～

令和5年 12 月３日（日）にボイス・オブ・ユース（青少年の主張）をみなみん（南公会堂）で開催。入選者の表彰式・朗読を行いました。ボイス・オブ・ユースは区内在住在学の小学 3 年生から 20 歳までの青少年が、自分の思いや考えを作文に込めて発表します。

今回はコロナ禍以前同様に来場者ありで、小中学生のボランティアの参加もありました。南区制 80 周年に相応しい大会になりました。

（小林）

▲入選者の皆さん

▲運営スタッフの皆さん

◆◆◆◆南区制80周年記念　第43回ボイス・オブ・ユース応募作品数◆◆◆◆

テーマ	小学生		中学生・高校生・一般	
	応募数	うち入選数	応募数	うち入選数
区制80周年をむかえた南区について	56	9	108	7
ルールとマナーについて	117	5	476	8
自由課題	472	19	467	20
合計	645	33	1,051	35

（編）

第43回　ボイス・オブ・ユース 作文審査経過の報告

◆募集期間
令和５年８月１日(火)～８月28日(月)

◆応募作文総数　1,696編

◆選考にあたって

９月２日(土)13:00より南区役所にて、青少年指導員87名によって第一次選考が行われました。全員で作文の読み合わせを行い、これにより約５分の２の526編の作文が審査を通過しました。通過した作文は、第二次選考として９月６日(水)～18日(月)の期間、各地区に振り分けられ審査が行われました。

さらに、10月５日(木)に青少年指導員役員によって調整会議の場で、最終的に68編の作文を入選作品として決定いたしました。（今井）

南区区連会承認第57号

表彰式

オープニングアトラクション

六ツ川中学校吹奏楽部

賞状授与

入選にあたって

永田台小学校 4年 大谷（おおたに） 愛（あい）さん

初めて入賞して、みんなの前でスピーチするのはきんちょうしたけど、ルールとマナーの大切さを分かってもらえてよかったです。

今度は、ボイス・オブ・ユースの実行委員になってみたいです。

六つ川台小学校 4年 谷平（たにひら） 煌（こう）さん

今回の南区制 80 周年記念第 43 回ボイス・オブ・ユースを通して、南区のマナーや、町のよさ、町の人のやさしさなどを書いている人が多く、南区のキャッチフレーズ「南の風はあったかい」に合ったすてきな内容だったので、初めて参加できてうれしかったです。

平楽中学校 1年 長谷川（はせがわ） 心桜（こころ）さん

今回、私の作文を選んでいただきありがとうございます。

沢山の人の前で朗読するのは、とても緊張しましたが、初めてのことだったので、とても貴重な体験になりました。

このことをこれからの自分の自信に繋げていこうと思いました。

共進中学校 2年 岩瀬（いわせ） 凜花子（りかこ）さん

私は学校で学級委員を務めていたおかげで大勢の前に立ってもそこまで緊張せずに朗読ができました。

しかし今回は自分の言いたいことを読むので少しスピーチのように胸を張って主張することが出来ました。

この場で出来た経験を学校や日常でも活かしたいです。

表彰式の舞台裏より

ボイス・オブ・ユースの表彰式も無事に終わり会場の片付けも済んだ後、ボランティアの児童・生徒が集まり「ふりかえりの会」が開かれました。

私はインタビュアーとして参加。会場に入るとそこにはボランティアを経て知り合い、役割や小中学校の垣根を越えた子どもたちが和気あいあいとしていました。

髙澤区長の挨拶のあと、みんなで乾杯!ジュースとお菓子で労を癒しながら随所で子どもどうし、区長・区役所、青指の大人と会話する姿がありました。

インタビューでは感想や失敗談、次回ボランティアを担う後輩へのメッセージなどを聞くことができ、その顔には表彰式前の会場入りした時に見せていた緊張した表情が、大役を終えて安堵と自信に満ちた表情に変わっているのを感じました。

（伊東（由））

友だちと
記念撮影

ボランティア　インタビュー

受付・誘導

参加のきっかけは?

「地域に貢献したくて参加しました。」

「いろんな人のスピーチが聞けるので参加しました。」

終わってみての感想は?

「偉い人を前に緊張した～。」

「凄く良い経験になりました。」

表彰者介添

これから始まりますが、今の気持ちは?

「ちゃんと出来るか不安です、きれいに見える様に頑張ります。」「任された仕事は全力で頑張ります。」

無事に成し遂げた感想は?

「良い経験になりました。」

音響・照明

機器の扱いをすぐに覚えてくれて、タイミングもバッチリ!

おかげでスムーズに進行することができました。

（担当青指より）

司　会

どうでしたか?

「凄く緊張しました、間違えたところもあったので今度チャンスがあれば頑張ります。」

「中学生と話す機会が今まで無かったけど、仲良くなれました。」

「初めてのボランティアなので難しかった。」

会場案内

参加のきっかけは?

「人の助けになるような仕事が好きなので参加しました。」

「いろんな事に挑戦したかったので参加しました。」

全市統一行動キャンペーン活動

地域住民の皆様には、日頃から、私たち青少年指導員の活動にご理解をいただき、ありがとうございます。我が南区でも、ボイス・オブ・ユースと同日の 12 月 3 日に、全市統一行動キャンペーンを行いました。

今年度は『南区制 80 周年』と言う事もあり、更に多くの皆様に、子どもたちの育つ環境に関心を持っていただきたく、力を入れて準備をしてまいりました。

当日も朝から冷え込む中、駅前などでチラシをお渡ししていると、住民の方から『○○さん!ご苦労様 !!』『頑張ってるね !!』などと声をかけていただき、とても励みになりました。わざわざ引き返して来てくださり『それ、やっぱり見せてください!』と、受け取ってくださった方もいらっしゃいました。

普段、活動していても『本当に子どもたちの為か?私たちの自己満足になっていないか?』と不安になる事もあります。ですが、一人でも多くの子どもを笑顔にし、その笑顔を守っていきたいと思う気持ちは、青少年指導員皆の願いでもあります。

これからも地域の活動を通して、『社会のたから』である、子どもたちの笑顔を増やすべく、頑張っていきます!

（太田地区　及川）

南区制80周年記念
ふれあいキャンプ 2023

令和５年７月29日(土)～７月30日(日)に国立中央青少年交流の家においてふれあいキャンプを実施しました。新型コロナウイルス感染症は５類に移行されましたが、今回も１泊２日の行程で宿泊棟を使用しました。参加者は子ども32名・青少年指導員26名・事務局３名・看護師１名の合計62名でした。今回は夏休みに入ってからの実施で、梅雨も明け天気も２日間ともに快晴でした。

初日は初めての試みで、御殿場市水道施設の見学をしました。施設の職員の方から御殿場の水道の仕組みの説明を受け、配水池タンクや中央監視設備室等を見てまわりました。キャンプ場に到着後、レクリエーション、野外炊事のカレーライス作りに久しぶりのキャンプファイヤーで大いに盛り上がりました。この日の最後は大浴場での入浴でした。湯舟で子どもたちははしゃいだり、ゆっくりお湯につかり一日の疲れがとれたようでした。

２日目の水遊びは安全面を考慮して、ライフジャケットを着用、靴もすべらないように上履きなどを着用して、元気いっぱいで遊びました。

全員が怪我もなく、南区役所まで無事に戻って来られて有意義な２日間でした。（平野）

キャンプの思い出

キャンプに参加した
子どもたちから、感想をききました。

初めてのキャンプ
大岡小学校　3年　山﨑（やまざき）　春（はる）さん

ぼくは、初めてのキャンプでカレー作りをしてごはんがうまくたけてうれしかったです。どうしてかというと、お友だちといっしょに協力してできたのがうれしかったです。

レクリエーションでMVPになれてうれしかったです。どうしてかというと、初めて参加したのにMVPになれると思っていなかったのでびっくりしました。

また来年もさんかしたいと思います。ありがとうございました。

楽しかったキャンプ
藤の木小学校　3年　須賀（すが）　朝日（あさひ）さん

ぼくは、はじめてキャンプにさんかしました。さいしょは友だちもいなくて不安だったけどへやについてみんなとしゃべったり、フリスビーをして、仲良くなれました。

夕ごはんのカレーを作るときぼくは、ごはんをたく係でした。なべでたいたのでとてもあつかったです。みんなで食べたカレーは、おいしかったです。

次の日早おきして、赤ふじを見にいきました。とても赤くて大きかったので、びっくりしました。

とても楽しいキャンプだったので、来年もさんかしたいです。

あっという間の2日間
永田台小学校　6年　岩崎（いわさき）　陸玖（りく）さん

昨年は年上のお兄さんに頼ってばかりでしたが、今年は班で最年長。色々なことに気を配れるか最初は不安でした。

でもそんな心配はすぐに吹き飛びました。初めて会うメンバーともすぐ仲良くなり、協力し合い、あっという間に楽しい2日間が過ぎてしまいました。

昨年はキャンプで中止だった外でのキャンプファイアーも今年はできました。火の迫力を感じながらみんなで踊ったことが一番の思い出です。

楽しいキャンプ
別所小学校　3年　竹ノ内（たけのうち）　結莉（ゆうり）さん

わたしは、はじめて親元をはなれてキャンプに行きました。

1番楽しかったのは、2日目の川遊びです。川の流れが強くてその流れにのっておよいだのが楽しかったです。

夜ご飯のカレーでわたしは野菜の皮をむきました。カレーが出来て食べたらからすぎてびっくりしました。

おふろに行く途中通った広場が広くて走りまくれて気もちよかったです。

翌朝４時半におきて見たふじ山は朝日で少し赤くそまり、雲１つなくきれいでした。

来年のキャンプも行きたいです。

とったぞ！！MVP!!
別所小学校　6年　遠藤（えんどう）　隼太（しゅんた）さん

ぼくがキャンプの中で楽しかったことはレクリエーションです。中でも大声をだすゲームが楽しかったです。そしてぼくは得点を一番多くとり、MVPになれたことがうれしくて一番の思い出です。

帰りのバスの中でもビンゴ大会があり、景品をたくさんもらえたこともうれしかったです。

とても楽しいキャンプを過ごすことができました。ありがとうございました。

初めてのリーダー
永田中学校　1年　新妻（にいつま）　幸樹（こうき）さん

今回のキャンプは、3回目で、初めてのリーダーでした。チームのみんなをまとめたり、副リーダーの奏くんともやりとりしながら、楽しい2日間を過ごすことができました。

とくに、キャンプファイヤーや、レクリエーションでも、新しい友達を作ったり、コミュニケーションをして、仲を深められたと思います。

来年ももし行けたら、今回のキャンプでできたことを生かして協力し合いがんばりたいです。

南区制80周年記念協賛行事

令和5年は南区制80周年

■つなぐ・つなげる・つながるバザー

3月に開催予定だった南さくらまつりが雨天により開催が見送られたのを受け、急遽”つなぐ・つなげる・つながるバザー”と銘打って、10月 28日（土）南地区センターと、隣接する下ノ前公園にてバザーが開催されました。

青指は焼きそば、焼き鳥の販売で参加。穏やかな気候と晴天に恵まれ、従来の南さくらまつりの縮小版ということではありましたが、たくさんのお客様にご来場頂き賑やかな一日となりました。

流行り病の影響で 4 年振りの開催となった出店。道具はちゃんとあるのか、手順は大丈夫か。事前の打ち合わせ、準備等万全を期して臨んだ当日は、早朝から皆が協力して順調に販売することができました。

近隣の井土ヶ谷下町地区の町内会からはテントやテーブル、椅子等の備品を貸し出して頂きました。多大なるご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

■地区協賛事業

南区制80周年を迎え、南区各連合町内会では80周年を冠に、各種事業が開催されました。南区としては”つなぐ・つなげる・つながるバザー”、その他北永田地区のふるさとふれあいまつり、六ツ川大池地区では歩こう大会が開催されました。それぞれの取組みを紹介していきます。

（門井）

北永田地区　ふるさとふれあいまつり

10月8日(日)に永田小学校でふるさとふれあいまつりが行われました。

昨年はコロナ対策で午前中で終わりましたが、今回はフルバージョンで15時まで行いました。

今回は、初めて永田中学校の美術部が参加して、まつりの開催時間内にライブで作品を仕上げるというイベントを行いました。

雨が閉会式前にパラパラときましたが、完遂出来ました。

区制80周年に新しいイベントは大成功したと思います。

（加藤）

六ツ川大池地区　歩こう大会

六ツ川大池地区では、4月23日(日)に「歩こう大会」を実施しました。

これは、毎年行われている行事の一つで、各町内会館・自治会館を経由し、広域避難場所、防災拠点となっている小中学校を巡りながら地域交流を深めて新たな発見をすることを目的としています。

今回は、総勢356名の参加で老若男女広い世代の仲間が集い、「南区制80周年」の缶バッジを胸に付けて元気に歩いていました。

（青木）

南区80年の歩み

昭和 18年12月1日	南区誕生58カ町で発区
昭和 20年5月29日	横浜大空襲で南区の広範囲が焦土と化す。
昭和 20年8月15日	終戦
昭和 41年10月1日	港南区分区
昭和 47年12月	地下鉄　伊勢佐木長者町～**上大岡**間開通
昭和 48年4月	横浜市青少年指導員協議会創設
昭和 51年7月	南まつり開催
昭和 58年5月	第 1 回ボイス・オブ・ユース開催
昭和60年3月	5年の工期をかけて大岡川プロムナード完成
平成元年3月	南区青指だより創刊
平成4年8月	第 1 回ふれあいキャンプ開催
平成28年2月	南区総合庁舎移転

※青字は青指の活動

群馬県赤城林間学園や道志村へキャンプに行ったね

平成24年道志ふれあいキャンプ

全市一斉統一行動パトロール

青少年を取り巻く社会環境健全化活動の推進のため、内閣府が定める「青少年の非行・被害防止全国強化月間（7月）」に合わせた、夏休み開始直後の令和5年7月22日を中心に全市一斉夜間のパトロールを実施しました。

南区内でも8つの中学校区で、各16地区の青少年指導員を中心に学校教諭・PTA 等と連携し、夜間における青少年の見守り活動が行われました。

六ツ川地区は3つの中学校が対象となっており、18人が3チームに分かれ中学校区内にある公園やカラオケ店、コンビニエンスストア等を巡回しました。

わたしが参加した六ツ川中学校区は、2地区合同で3つのコースにわかれパトロールを行いました。六ツ川中学を出発し六ツ川二丁目にある「ふれあい公園→第二公園→第四公園→第一公園」を順に回りましたが、子どもを見かけることはなく無事パトロールが終わりました。

地域と連携を図り、いろいろな場面で青少年を取り巻く環境の健全化に努めていきたいと思います。

（森田）

【六ツ川中学校区】　六ツ川地区 / 六ツ川大池地区　7 月22日(土) 19 時
【南 中 学 校 区】　六ツ川地区 / 井土ヶ谷地区 / 南永田・山王台地区 / 本大岡地区　7 月22日(土) 20 時
【南ヶ丘中学校区】　六ツ川地区 / 別所地区 / 大岡地区　7 月28日(金) 19 時

第54回 神奈川県青少年指導員大会

令和 5 年11月12 日(日)　神奈川県西10市町協議会（松田町・小田原市・南足柄市・中井町・大井町・山北町・開成町・箱根町・真鶴町・湯河原町）主催により　松田町生涯学習センターで開催されました。

▶テーマは　『すべての青少年が成長・活躍できる未来へ』

オープニングは　開成町阿波おどり　壮大なお祭りを彷彿させキッズも交えての素晴らしい演技で開幕しました。山北町協議会会長の開会のことば、来賓の挨拶、紹介、祝辞と続き、長年の功労を称える表彰式では県内の指導員（今年度62名）皆さんへ感謝状の贈呈が行われました。

▶続いて　小田原市と南足柄市の活動事例発表

小田原市は、現在85名の青少年育成推進員で活動しており、今年実施した『小田原城ロゲイニング』の紹介がありました。（ロゲイニングとは地図やコンパスを使って定められたエリア内のチェックポイントを廻る野外スポーツ）城址公園の文化・歴史・産業など伝えていくことを推進し開催したとのことです。南足柄市は、41名の推進員で活動しており、『二十歳の集い・補導パトロール・市民まつり』を中心に “ジュニアリーダーズクラブメンバーの勧誘” を促進する活動をしています。《青少年育成推進員協議会は「青少年補導員」と「青少年指導員」が合併して誕生》

▶後半はテーマ『ダークサイドから子ども達を守る』

講師として心理カウンセラー　荒木信弘氏 による講演が行われました。
生立ちは複雑な家庭環境で育ち、非行の少年期を過ごし、成人後も借金苦・依存症・非行を繰り返した生活を送っていたが、そこからの脱却の糸口となった保護司・知人・青指、そして学生時代の恩師による導きで現在は、非行行動に苦しむ学校の生徒指導や支援活動に携わり、『荒れた学校を安心の環境に変えた』ことの評価を受け、多くの学校から応援要請があり活動を行っています。

非行や生活に苦しむ青少年たちを救う『心の居場所』を作り、命と向き合っている子ども達との触れ合いを思い出し途中自ら声を詰まらせる場面もあり、会場内でも多くの方々が目が潤ませていました。
最後に我々指導員へ、青少年たちの道しるべとなり、手を差し伸べて欲しいとの熱いメッセージがありました。

閉会にあたり次回（第55回大会）開催地となる相模原市協議会へバトンが渡されました。　（伊東）